

新型コロナウイルスと 5-11歳の子どもに対するワクチンについて

2022年3月 健和会病院小児科

感染力の強いオミクロン株の流行により、飯田下伊那でも子どもの感染例が増えている中、3月から5-11歳へのワクチン接種も始まります。接種しようかどうか迷っている方も多いのではないのでしょうか。現時点でわかっている、新型コロナウイルスとワクチンのことについてお示しますので、接種の判断の参考にしてみてください。

子どもの新型コロナウイルス感染症

- ◆ 感染経路：家庭内だけでなく、園や学校での子ども同士の感染が増えている¹⁾
- ◆ 症状：子どもの場合は軽症が多いですが、まれに重症化する
国内でも感染者数が増えるにつれ、入院や集中治療を必要とする子どもが増えている²⁾
- ◆ 合併症：MIS-C（小児多系統炎症症候群：感染の数週間後に重篤な状態になる）日本で数例報告がある³⁾
- ◆ 後遺症：長引くだるさ、頭痛、咳など 子どもにも増えている⁴⁾
- ◆ 感染した子、接触者となった子、また、流行の長期化により行動制限が続けられている全ての子どもたちがストレスにさらされ、心身への影響は大きいです⁵⁾
- ◆ 今後コロナウイルスがどのように変わるか、軽くなるのか重くなるのか、などは現時点では誰もわかりません

5-11歳への新型コロナウイルスワクチン

効果

感染・発症(症状が出る)・重症化(入院や酸素投与など)・合併症・後遺症を予防する

子どもたちの園や学校生活など日常を取り戻すための一つ的手段として期待されています⁶⁾

以前に流行していた株と比べると、オミクロン株には少し効果が落ちていますが、ある程度の効果は期待できます
特に、重症化を防ぐ点では高い効果が示されています⁷⁾

基礎疾患のあるお子さん（重症喘息、高度肥満、マスクが難しい発達障害児等⁸⁾）は重症化リスクがあるため、接種を強くおすすめします
【当院かかりつけの場合、こうした方にはこちらから連絡します】

副反応（接種後7日以内）⁹⁾

	1回目	2回目	12歳以上の子どもや成人と比べると頻度が低いが、他のワクチンと比べると副反応は起きやすい
注射部位の痛み	53%	56%	
だるさ	20%	26%	
頭痛	14%	20%	
発熱	8%	13%	

上記のような症状は、安静にしていれば自然に良くなりますが、解熱鎮痛剤で対応することも可能です
接種後の症状が辛い場合は、相談のお電話をください

アレルギー：ほぼ影響なし

問診時に詳しくお聞きしますが、接種は問題ありません

心筋炎：とてもまれ

100万人に2-4人、死亡なし¹⁰⁾

- 新型コロナに感染した際の心筋炎¹¹⁾（100万人に700-900人）よりはるかに少ないです
- 飯田下伊那の5-11歳は約1万人なので、全員打ったとしても0.02-0.04人の発症と推定されます

長期の影響：不明

- 新しいタイプのワクチンなので、数十年後の長期的な影響がないという証拠はありません
- ただし、新型コロナに感染した場合の数十年後の後遺症についてもわかっていません

いろいろな情報が飛び交い混乱もあるかもしれませんが、正確な情報をもとに、接種するかどうかをお子さんを交えてご家族で十分に話し合ってみてください。そしてどんな判断も、お子さんを大切に思っ
てこそそのものと思います。個々の家庭の判断について、批判や差別はぜひ控え、尊重し合ひましょう。